

# におい抑えた即効肥料



高橋 勤 高橋社社長  
豊川市小田湊町で作業に励む

## 肥料製造ベンチャー 環境テクシス 豊川

肥料製造のベンチャーだ。

企業「環境テクシス」(豊川市小田湊町)が、食品工場の廃棄物や食物残さから有機肥料を作るプラントを本格稼働させた。肥料は土壌改良の即効性に優れ、においも少ない。東三河特産のキャベツや大葉などの肥料として五年後には年間一億円の売り上げを目指す。

同社は、廃棄物に消石灰や堆肥(たいひ)を混ぜ、発酵させて肥料を生産する。自動測定器によるきめ細かな温度管理と、空気を十分に送ることなどで発酵を促進。においを抑える一方、即効性を備えた商品化に成功し

名古屋大農学部で肥料

に興味を持った高橋社長(左)が大手浄化槽メーカーに勤めながら研究を重ね、三年前に有限会社として法人登記。昨年五月に脱サラし、産業廃棄物処分業の許可を約一年かけて取得した。高橋社長一人で、経理や営業などを手掛けている。

プラントのひと月当たりの処理能力は百ト。現在は西三河の食品工場か

ら月平均二十トの汚泥を引き取り、二トの肥料を生産している。今後は顧客を増やし安定生産につなげる考えだ。商品名「ゆうきのススメ」で、インターネットなどで販売している。問い合わせは同社 電0533(87)5512へ。

(村瀬力)